

名護市長選

米軍基地から広がったオミクロン株のコロナが社会を直撃!

事件・事故、コロナを持ち込む基地を新たにつくっていいのか?

1票があなたとご家族の命と暮らし未来を決める

市長を選ぶ参考にしてください



復帰生まれ49歳 若さと情熱の

ニューリーダー

VS

現市長

米軍由来のコロナから
命と暮らしを守る **すぐ行動!**

- ①玉城県政と連携しPCR検査無料
- ②保育・教育現場に専門人材を配置
- ③エッセンシャルワーカー、国の支援が行き届かないすべての方に名護市独自の支援を実施
- ④休業・時短協力金を県支援金に上乗せし支給

米軍や政府に
そんたく
忖度…

- ・日米政府の対応を「評価」
(2022年1月14日 市議会臨時議会で)
- ・米軍の外出禁止、日米地位協定改定などを政府に求めない。

「米軍由来」のコロナ対応^{*1}

ニューリーダー

比較

現市長

米兵の入国禁止

禁止すべき



求めず

基地からの外出禁止

禁止すべき



求めず

日米地位協定の改正

改正すべき



求めず

*日本の検疫法を米軍にも適用求める

辺野古新基地建設

認めない



「辺野古基地建設を、やめるべきだという考えはない」^{*2}

市民の命と暮らしを守るために
政府に声をあげられる市長を!

*1: 1月2日 沖縄県知事緊急会見で認識を示した。

*2: 2020年3月13日 市議会での答弁

ナグンチュの誇りと尊厳を守る一票を 復帰生まれのニューリーダーへ!

米軍基地は沖縄県民の命とくらしを脅かす
最大の阻害要因!

再編交付金による無料化の恩恵を受けた子どもたちが大人になった頃、辺野古新基地が完成し、再編交付金が打ち切られたら名護市はどうなるでしょうか。

再編交付金がなくても、
すべての学校校舎を建て替え、
教室にはクーラー、
トイレ改修も行いました。

※米軍再編交付金を受け取っていたのに全く何もしない市長もいました！



「良くない」ことばかり
あると言う割には
基地交付金、国とのパイプ

※令和2年度(2020年)名護市普通会計決算状況より

減 稲嶺市政より確実に
つた予算

普通建設事業費 マイナス 66億6千万円

稲嶺進市政(平成27年／2015年)

123億円から

現市長(令和2年／2020年)

56億4千万円にダウン

DOWN

農林水産費 マイナス 24億1千万円

稲嶺進市政(平成29年／2017年)

39億8千万円から

現市長(令和2年／2020年)

15億7千万円にダウン

DOWN

教育費 マイナス 27億円

稲嶺進市政(平成27年／2015年)

61億4千万円から

現市長(令和元年／2019年)

34億4千万円にダウン

DOWN

前名護市長 稲嶺 進



翁長雄志前知事夫人

翁長樹子



岸本建男元名護市長夫人

岸本能子

彼は基地問題で亡くなった岸本建男の思いをしっかり受け止めて立候補しています。基地問題を解決しないで亡くなった父親の無念を晴らす、これは宿命ではないかと思っています。私たちは一人一人、大事な一票を持っていません。皆さんの思いをしっかり受け止めてくれるのはニューリーダーしかいません。

沖縄県知事 玉城デニー



ニューリーダーは市民の7割が反対する辺野古新基地建設についても、反対の意思をはっきりと示しています。今回の新型コロナウイルスの感染の再拡大については米軍基地由来と言わざるを得ません。岸本建男元市長の遺志と稻嶺進前市長の名護への思いを、しっかりと受け継ぐのはニューリーダーです。

翁長樹子



翁長雄志前知事夫人

翁長樹子

米軍と事が起ったときに、県民を背にして米軍に抗議してくださらないのか、この政府のやり方に正直我慢ができません。沖縄にとっても、日本政府にとっても、日本国民にとっても不幸なことです。ニューリーダーに勝っていただいて、少しでも私たち県民の心が政府に届くように、どうかみなさん力をお貸しください。



あなたの声かけてニューリーダーを誕生させよう！

名護市長選挙の投票日は1月23日(日)です
期日前投票は17日(月)から22日(土)まで